

平成24年度 学校評価（自己評価）の結果について

25年6月15日

四條畷学園大学附属幼稚園

平成24年度に四條畷学園大学附属幼稚園において実施致した学校評価（自己評価）の結果を報告致します。

■学校評価の実施方法

- A) 実施時期 平成24年11月
- B) 調査対象 幼稚園の教職員全員
- C) 評価項目 保育活動全般および園に対する全体的評価を行いました。
- D) 評価方法 各項目について5段階評価を行いました。記載の評点は平均点です。

- 5：大変そう思う。 (5点)
- 4：どちらかといえば、そう思う。 (4点)
- 3：普通 (3点)
- 2：どちらかといえば、そう思わない (2点)
- 1：全く思わない。 (1点)

□平成24年度の幼稚園教育目標

- 1、健康な子どもに育てます。（体の力）
- 2、自ら考え行動する子どもを育てます。（学ぶ力）
- 3、思いやりと優しさのある子どもに育てます。（心の力）

本年度に定めた重点目標や計画をもとに、教職員が学校評価の評価項目を十分理解し、評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することにより教職員自らが、教育の取り組みを振り返り、目標がほぼ達成できている項目を確認するとともに、十分な目標の実現に至っていない項目を認識することにより、課題の一層の改善に結び付けていくことがこの評価のねらいとするところです。

### 【重点取り組み事項と指導方針】

- A) 平成24年度の「年間目標」を軸に年少児、年中児、年長児の学年目標を一人ひとりの子ども達が達成できるように、その子に合った指導のあり方と環境を考えて最善の努力を尽くします。
- B) 上記Aのため、教職員は担任をしているクラスの園児だけではなく、各学年、全学年の園児が目標達成できるよう協力し、話し合いの機会を多く持ち、教職員が全員で子ども達を育てていこうと一層意識を高め合い取り組みます。
- C) 保護者と教職員とのコミュニケーションを密に図り、子どもの成長のために家庭と幼稚園が協力して取り組める環境を作ります。

### ■今後の改善対策と幼稚園運営

#### 【結果の概評】

教職員による自己評価は、ともすれば保護者の方による学校評価との差異が生じる事があります。その点に於いて課題が浮かび上がってくるように思います。保護者と教職員の評価に差があるものについてはその原因を分析し改善できるよう努力を図っていきます。

今後は、保護者の方の協力も得ながらより良い保育を実践していきたいと思えます。

#### 【保護者の評価と差があり改善していく事項】

- 6. 保育内容は充実していると思う
- 7. 行事について子ども達は満足していると思う
- 8. 子ども達への安全確保に注意が払われていると思う
- 9. 課外教室は満足していると思う
- 10. 早朝預かり保育、預かり保育は便利だと思う

#### 【両者の評価にそれほど差がないもの】

- 1. 幼稚園に入園して良かったと思えますか
- 2. 先生は相談しやすいと思う
- 3. 子ども達は先生に親しみを持っていると思う
- 4. 幼稚園の環境・設備は良いと思う
- 5. 子ども達は、マナーを身につけていると思う

## アンケートの集計結果とコメント

教職員への質問項目と集計結果は以下の通りです。記載の評点は平均点です。

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
1	幼稚園に勤務して良かったと思う	5.0	5.0	5.0

■教職員は保育を通して子ども達とふれあい、責任感をもって教育にあたるとともに、子ども達の日々の成長に喜びと充実を感じています。今後もより良い幼稚園教育を目指し、子ども達のために日々熱心に教育研究に励み職員間のチームワークを維持できるよう取り組みます。

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
2	保護者と信頼関係が出来相談されることがある	4.7	4.3	4.3

■担任が子どものことについて保護者とよく話し合い、保護者や子どもに対して適切丁寧な対応を行った結果と考えられます。今後も保護者とのコミュニケーションを大切にして信頼を得られるよう心がけます。

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
3	子ども達との信頼関係は良いと思う	4.9	4.8	4.5

■年々子ども達と先生との信頼関係が良くなっているように思われます。一人ひとりの子ども達の思いを受け止め、子どもの心を大切にして一層、絆が強まるように配慮することが大切です。

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
4	幼稚園の環境・施設・設備は良いと思う	3.9	3.6	3.3

■教職員は施設・設備の使いづらさを毎日の清掃から実感しています。老朽化ということもありその結果、低い評価となっています。環境面が不十分な点を教職員の熱心な教育で補っていかうと取り組んでいますが、その一方、今後も園舎の教育環境の整備と美化に努めます。

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
5	子ども達は、マナーを身に付けてきていると思う	4.5	4.6	4.5

■基本的生活習慣については幼稚園と保護者の両方が協力して取り組まなければならないことだと思います。幼稚園時に生活の基礎基本を身につけておくことは、成長してからの生活のためにも大切なことです。保護者との連携をさらに密にし、協力を得ながらこれからも基本的生活習慣が身につくよう取り組んでいきます。

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
6	保育内容は充実していると思う	4.9	5.0	4.9

■子どもたちの健やかな成長のために様々な保育に取り組んでいます。また、いろいろな個性をもった子ども達に応じた指導も行っています。時間のかかる子がどうすれば出来る様になるか日々考え、熱心に保育に取り組んでいます。これからもステップアップ会議や園内研修会をさらに充実させ、より良い保育を実践していきます。

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
7	行事について子ども達は満足していると思う	5.0	5.0	4.9

■行事に参加している時の表情から、子ども達は季節に応じた様々な行事に満足していると感じています。行事を通して、子ども達同士のふれあいを深め、家族との絆を振り返るなど、行事のねらいをしっかりと理解し、さらに日本の伝統文化をも大事にしながら、子ども達が一層喜んで行事に参加できる内容を充実させます。

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
8	子ども達への安全確保（セキュリティ）に注意が払われていると思う	4.8	4.8	4.5

■危機管理マニュアルについては、地震・火災対策などこれまでにない充実した対応策が求められています。不審者対策としては、保護者が来園する際の保護者証明証や入場許可証のチェック体制を厳重にチェックし、教職員も防犯教室の指導を受けながらさらに意識が高まるように努めます。

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
9	課外教室は満足していると思う	4.9	4.9	—

■課外教室は豊富で充実していると考えられるので教職員は高い評価になっています。しかし、申し込み方法が公平さに欠けるとの指摘もあるので、今後は保護者に納得して頂ける課外教室になるよう検討していきます。

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
10	早朝預かり保育・預かり保育は便利だと思う	5.0	5.0	—

■早朝預かり保育及び預かり保育は、生活や仕事の調整のうえで保護者にとって有難い仕組みではないかと認識しています。預かり担当職員の子どもへの対応力の向上と保護者との信頼関係が更に密になるよう心がけ、安心して参加していただけるように目指していきます。

#### 評価結果の分析〔結果の概評〕

本園は、教員の自己評価を保護者向けアンケートと項目を同じものにして両評価を比較し検討を続けています。全体としては、同様の評価となっています。保育内容に関しての項目については、高い評価が得られました。今後も一層充実した取り組みができるよう努力していきます。

2、の「保護者と信頼関係が出来、相談されたことがある」で昨年に比べ評価が上がっています。個々に応じた指導を職員が熱心に取り組んでいるものと自己評価していますが、関係者評価では必ずしも十分な信頼関係や相談対応ができていないと思われるところもありますので、今後とも保護者との信頼関係が構築できるように心がけていく必要があります。教職員一人ひとりが、自らの課題として考え取り組むことが大切であると考えます。

評価結果の分析をふまえ、保育のあらゆる場面で、子ども達の未来の為に何が今大切かを考えて、今後ともより良い保育に取り組むよう努力していきます。

#### まとめ

学校評価は職員が自己評価を行うことによって、教育活動を振り返り、意欲的に実践的に取り組もうとする契機となっています。子ども達にとってより良い保育とは何か、保護者が何を求めているか、次年度の課題が明確になり、改善への目標になっていきます。より良い保育のためには、職員一人ひとりの研鑽とともに、園全体の教育力の向上が求められています。そのためには職員間の連携を一層強化する必要があります。職員も子ども達と共に成長し教育内容がさらに豊かに充実したものになるよう改善を推し進めていきます。